



秋竹小 学校だより

第156号 平成27年3月16日

片袖のぬれて笑顔の春の雨

## 卒業式に向けて

13日(金)には、卒業式の総練習が行われました。3月に入ってからそれぞれの学年で、または合同で練習してきたことの最終確認の場でもありました。

主役である6年生はもちろんのこと、4・5年生も真剣な表情で練習に臨んでいます。卒業証書授与、教育委員会告辞、そして来賓祝辞と、ぴりっと引き締まった空間で粛々と進められました。誰もが、本番さながらの真剣さです。校長式辞では、1週間後に控えた卒業式を前に、6年生だけでなく4・5年生にも、お話をされました。来賓祝辞では、来賓の代理として齋藤先生が6年生の子どもたちにはなむけの言葉を贈りました。一人一人の心に響くお話でした。



そして、別れの言葉では、6年生一人一人が思いを込めて、自分の言葉を在校生に伝えます。4・5年生も、しっかりと張りのある声で、バトンを受け継ぐものとしての言葉を伝えます。合唱曲も、仕上がりつつあります。

いよいよ、旅立ちの時が目の前にやってきました。素敵なお卒業式になる予感がします。



## ご苦労様でした

2月末に選挙をし、その後各学年での選挙の結果、会長始め、5・6年副会長など、27年度前期児童会役員が、無事に決まりました。

9日(月)の朝礼では、26年度後期児童会役員退任前のあいさつが行われました。実は、この日が26年度最後の朝礼でした。児童会長が代表で『秋竹小の伝統の「なかま活動」を大切にしていってください』と、全校に向けてあいさつをしました。いろいろなことの締めくくりに忙しい3月です。



## 卒業制作完成に向けて

6年生恒例の卒業制作が順調に進んでいます。掛け軸など個人の作品と、全員での共同作品の両方に取り組んでいます。個人作品は、いよいよ完成間近。共同作品は、下絵ができあがって作成に取りかかっています。思い出に残る作品ができあがりそうです。

